



士別翔雲高校だより

学校通信 第160号 令和5年 3月24日(金) 発行 校訓「一步前へ」

「人事を尽くして天命を待つ」

北海道士別翔雲高等学校長 北村 京一

「人事を尽くして天命を待つ」という言葉があります。「人間の能力でできる限りのことをしたら、あとは焦らずに、その結果は天の意思に任せる」という意味です。4月からはみなさんには自分自身を信じて、最後まで諦めず果敢に挑戦してもらいたいと思っています。あと何日かすると皆さんは一つ上の学年に進級します。新しい学年でさらにレベルアップを図るために、今何をしておくべきかしっかりと考えて生活してください。

話は変わりますが、2019年1月16日に横綱稀勢の里が引退しました。一人の相撲ファンとして非常に残念だなという気持ちとこれほど不運な力士もいないなという印象を持ったものです。稀勢の里は中学校を卒業してすぐ大相撲の世界に飛び込み、ちょうど2年生の皆さんと同じ年頃に関取になるというスピード出世を果たし、将来を非常に囑望されました。ここまでの道のりは本当に順調だったのですが、その後伸び悩み、大関昇進は新入幕から7年、初優勝と横綱昇進はさらに6年もかかりました。横綱になったと思ったら新横綱の場所で大けがをしてしまい、横綱としての存在感をほとんど示すことなく引退に追い込まれました。稀勢の里が中学校の卒業文集にこんな言葉を書き残しています。「**天才は生まれつきです。もうなれません。努力です。努力で天才に勝ちます。**」その言葉どおりに、伸び悩んでいたときも結果を出せないときも、毎日の稽古を信じて黙々と努力を重ねたそうです。その甲斐あって2回の優勝と横綱昇進を果たしました。ただし、横綱になってからの2年間を見て、「世の中というのは甘くはないな」「人生というのはなかなか自分の思い描くようにはならないな」ということをつくづく思い知らされました。野球のイチロー選手が講演でよく話すことなんですが、「高い志を持って人並み以上に努力したからといって必ず報われるという保証はない、しかし、諦めたらそこで終わり、自分の選んだ道で一生懸命努力することが大切なんだ」ということを言っています。まさしく稀勢の里のことをさしているような言葉なんですが、はっきりと言えることは、「成功をたぐり寄せる者は日々努力している」「結果を残すことができなかったとしても、それまでの努力の過程は次の新しい道に必ず生きる」ということです。士別翔雲高生の皆さんが将来どのような人生を送るのかは想像はできませんが、「努力することの大切さ」をしっかりと認識して**一步前へ**進んでもらいたいと思います。4月からの新しいスタートが生徒の皆さんにとって**飛躍の新年度**になるようお祈りします。

進路決定状況速報

〈合格者インタビュー〉 ～一般入試・学校推薦型選抜入試～

北海道大学 総合入試理系・数学 合格!



Q1. 受験に向けてどのように勉強していましたか?

A. 苦手な科目は短期集中で補充するようにしていました。私は倫理・政経が苦手だったので、1週間に1単元を目安に7週間で勉強しました。また1日何時間勉強するかではなく、1日の勉強ノルマを決めて勉強しました。

Q2. 合格できた理由は何だと思いますか?

A. 支えてくれた友達、先生そして家族がいたからだと思います。先に合格が決まっていた友達は一緒に学校に残って勉強に付き合ってくれましたし、先生は私専用の問題集を作ったりお菓子を持ってきたりしてくれました。

小樽商科大学 商学部 合格!



Q1. 受験に向けてどのように勉強していましたか?

A. 共通テストの英語で8割とれるように、共通テスト形式の問題や過去問をたくさん解きました。また面接がなく内申点が大事だったので、ボランティアに積極的に参加するようにしていました。

Q2. この大学でどんなことを学びたいですか?

A. 多くの人の役に立てるように、英語や経営やマーケティングはもちろん、様々なことを幅広く学びたいです。

小樽商科大学 商学部 合格!



Q1. 受験に向けてどのように勉強していましたか?

A. 北星学園大学の「イングリッシュキャンプ」など課外活動に積極的に参加するようにしていました。また英検の勉強で単語や長文読解のスピードを上げることも意識しました。英検は2級を取得しました。

Q2. 合格できた理由は何だと思いますか?

A. 普段の授業にしっかり取り組むことはもちろん、女子テニス部の部長をしたり学校祭の雲隊の責任者をしたりしていたので、内申点や自己推薦書が良かったからだと思います。

1年生 総合的な探究の時間 ～課題探究～

3月13日(月)と14日(火)に1年生の「総合的な探究の時間」でクラス別課題探究発表会が行われました。身の回りの疑問を題材にグループ毎に仮説を立て、アンケートを取ったり実験をしたりするなど調査研究し、スライドを用いてプレゼンテーションを行ったものです。その後、各クラスの代表グループが3月20日(月)、1学年全体の前で発表しました。生徒たちはそれぞれグループのメンバーと協力しながら準備し、堂々と発表を行っていました。



祝 卒業！！

卒業生112名翔雲からはばたく！

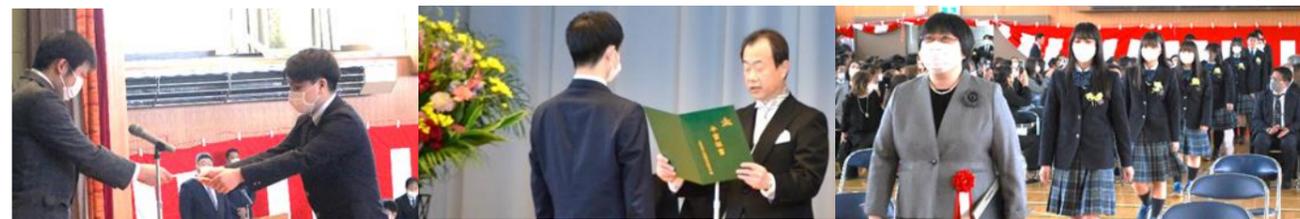
北海道士別翔雲高等学校卒業式



3月1日(水)、第16回卒業証書授与式が行われ、112名(普通科101名、総合ビジネス科11名)が学び舎を巣立ちました。今年度も新型コロナウイルスの感染を避けるため、来賓は士別市長とPTA会長とPTA副会長のみ、在校生は吹奏楽局・新聞局に限るなどコロナ対策を施して実施しました。来賓や保護者、教職員が見守る中、卒業生は呼名されるとしっかりと返事をし、北村校長から卒業証書を受け取りました。続いて3年間を通じて、欠席・遅刻・早退・欠課が一度も無かった生徒28名に皆勤賞が授与され、代表生徒の深澤倫太郎君(3B)が表彰状を受け取りました。また今年度はウエイトリフティング部の活躍が称えられ、大崎柊哉君(3D)が特別賞を受けました。さらに、商業教育で顕著な活躍をした生徒として、産業教育振興中央会賞に高橋佑菜さん(3D)・全国商業高等学校長協会賞に竹内友羽愛さん(3D)、全商3種目以上1級取得者を代表して犬飼彩椰さん(3D)に、表彰状が伝達されました。式辞・祝辞の後には、PTAからの記念品が代表生徒の船越春香さん(3A)に手渡されました。

～ 皆勤賞 ～

市橋 宗大、岩端 蓮、采女 瑞奈、尾形 真里、熊田 紅葉、斉藤 美和、千葉 咲奈、長谷川二蘭
 藤原 冴彩、蓑島 陽太、山口 琉成、山下 晶生、渡辺 真也、相澤 華奈、高貝 陸、深澤倫太郎
 藤田汐愛礼、三好 茜、渡辺 真珠、足利 朔、稲川 拓真、采女 葵羅、大下 優花、岡田 莉璃
 金子さくら、北島 夢萌、後藤田咲奈、大崎 柊哉 (合計28名) <敬称略>



送辞では、在校生代表の福本一成君(2A)が「3年生の皆さんと共に歩んだ2年間は、かけがえのない時間であり、その強く、たくましい姿は私たち在校生の誇りです。本校の校訓である『一步前へ』の言葉と、たくさんの思い出を胸に選んだ道を信じ、未来を切り拓いていってください」と卒業生に激励の言葉を送りました。



答辞では、佐藤梨花さん(3C)が「こうして3年を振り返ると、私がこんなにも充実した高校生活を送ることができたのは周りの人たちのおかげだと改めて実感します。先生方、個性豊かな学年でしたが最後の最後まで私たちのために思って指導してくださりありがとうございました。そしてこれまで仲良くしてくれたみんな、本当にありがとう。頑張り屋でおふざけが大好きなこの学年のみんなと一緒に過ごせてすごく楽しかったです。(中略)最後にお父さんお母さん、18年間本当にありがとう。(中略)いつか恩返しができるように頑張りますので、まだまだ未熟な私ですが応援しててください」と3年間の想いや感謝などを述べました。

4月の行事予定

- | | |
|--|--|
| 1日(土) 学年始休業(～7日) | 18日(火) 2年生徒進路説明会
2年保護者進路説明会 |
| 10日(月) 着任式、始業式、大掃除
入学式、PTA入会式 | 1年振替休業日 |
| 11日(火) 対面式・生徒会オリエンテーション
身分証明書写真撮影、HR役員選出
図書館バス | 19日(水) 3年生徒進路説明会 |
| 12日(水) 1・2年スタディーサポート・進路マップ、進路希望調査、3年自転車点検 | 20日(木) 交通安全講話、歯科検診、尿検査 |
| 13日(木) 公開授業月間(～30日)
2年自転車点検 | 21日(金) リーダー研修会 |
| 14日(金) 1年自転車点検、1年宿泊研修結団式 | 22日(土) 土曜授業、参観日、PTA総会 |
| 15日(土) 3年大学・看護学校共通模試、
3年公務員模試 | 24日(月) 特別清掃週間(～28日) |
| 16日(日) 1年宿泊研修(～17日) | 25日(火) 1年生徒進路説明会
1年心電図・X線検査
授業料・諸納金口座振替日 |
| | 26日(水) メディアリテラシー講話 |
| | 27日(木) 生徒総会議案書審議 |
| | 29日(土) 昭和の日、3年全統共通テスト模試
3年公務員模試 |

※変更になる場合があります。

この通信は阿部新聞店様、道新平中販売所様、鈴木販売所様のご厚意により、地域の皆様に無料にて配布させていただきます。

<発行者> 北海道士別翔雲高等学校 担当: 総務部 <電話> 0165-23-2908 <FAX> 0165-23-2911
 <ホームページ> <http://www.s-shoun.hokkaido-c.ed.jp/>
 <E-mail> s-shoun@hokkaido-c.ed.jp

※上記のホームページでカラー版をご覧ください。

